

千人、また、いわゆる引きこもりは約300人、高校中退者は約80人と推計している。

議員 人間らしく働ける社会実現のためには、基礎自治体としてブラック企業の実態把握や根絶に取り組むことが必要だ。所見を聞く。

生活環境部調整担当部長 三鷹労働基準監督署など関係機関と連携し、できるだけ



みたか地域若者サポートステーション

豊かな学力の形成を妨げる学力テスト結果公表は避けよ



日本共産党 森 徹 議員

議員 全国学力・学習状況調査について、国は結果の公表が学校の序列化や過度の競争につながる恐れがあることを認識している。調査開始10年後の中止と、その後の再開理由を聞く。

教育長 国は、所期の目標を達成したため中止し、各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係で自らの教育結果を把握し、改善を図ること等を目的として調査を再開したとしている。

議員 人格の完成という教育の目的に対し、効果はあるのか。考えを伺う。

教育長 人格形成の一つの要素である学力について本

けの対応をしていきたい。

議員 引きこもり、高校中退者、早期離職者への支援の取り組みについて伺う。

市長 地域若者サポートステーション事業を継続するとともに、都の若者自立支援事業と連携し、本人・家族支援の充実を目指したい。

議員 非正規雇用から正社員へのキャリアアップの取り組みをハローワーク等との連携で推進してほしい。

市長 引き続き、事業主向けのキャリアアップ助成制度等をPRしていきたい。

議員 奨学金の返還に苦しむ若者への支援として、市独自の奨学金返還支援制度の創設を検討できないか。

教育長 国などが取り組むべき課題であり財政的にも非常に困難と考えている。

場で臨んでもらいたい。

教育長 学力の向上に多大な努力、コストをかけて取り組んでおり、その課題や成果の市民への説明は避け

られないと考える。どのような条件整備が必要なのか慎重に検討していきたい。

《その他の質問》教育委員会のあり方について

敬老金復活で、見守り・商業振興・外出支援を



日本共産党 岩田 康男 議員

議員 団塊の世代が65歳を迎えた。65歳は地域社会に参加するきっかけとして重要な節目であることを踏まえ、市の取り組みを伺う。

市長 地域との関わりが少なく、既存団体のほか勤労者福祉サービスセンター等でも地域活動情報を提供したい。

議員 高齢者による万引き等の犯罪が増加している。背景には家庭や地域社会からの孤立、経済的不安等の共通の問題があり、政策的に対応すべきではないか。

市長 傾聴ボランティア活動の普及に努める。高齢者同士、高齢者と若年者が傾聴し合い、自己肯定感を高め連帯を上げ、長寿を誇れるまちづくりを目指す。

議員 敬老金の支給年齢を引き下げ、現金だけでなく

性同一性障がいへの配慮の観点から、かつて申請書や調査書の男女別の表記・記入を必要最小限にすべきと提案した。その後

の見直し状況等を伺う。

市長 法令で規定されたも

男女平等と国際化の視点から申請書等の更なる改善を図れ



日本共産党 嶋崎 英治 議員

のや業務上必要なもの等を除き性別の記載を廃止するよう要綱等を改正した。

議員 外国籍住民の人数を同。また、民間では年号記載は西暦が主流となっているが、本市の年号記載に

市民との情報の共有にソーシャルメディアの活用を



日本共産党 野村 羊子 議員

政策形成過程への市民参加や双方向で市民と直接情報交換をするツールとして、本市においてもフェイスブック等のソーシャルメディアを活用すべきだ。

企画部調整担当部長 市民参加には、正確な情報の共有と責任ある情報交換が大前提。ツールの特性等を見極め、検討を重ねていく。

議員 公共施設の不具合等の情報を市民から位置情報付きの写真で受けるシステムが構築され始め、災害時にも活用が期待できる。導入を検討してはどうか。

市長 位置情報については国などがセキュリティと個人情報保護を両立させながら防災等へ活用すること

不交付団体に本来不必要なお金をなぜ借りたのか



日本共産党 半田 伸明 議員

直近決算の一般会計市債償還状況の借入目的別によると、臨時財政対策債が110億円余と現債額トップだ。そもそも、交付税不足を補うものであり、不交付団体の三鷹市ではこの借入をする必要がなかった。

議員 今の例示と臨時財政対策債は違う。三鷹市は不交付団体だ。臨時財政対策債は交付団体の定額を超過するに赤字債だ。一般の家庭に置き換えると、収入を超えた生活をするために借金をしているのと同じではないか。

企画部行財政改革担当部長 市債全体の借入額の適正さを意識している。

《その他の質問》いじめについて、学校教員のメンタル面のケアについて

三鷹らしい環境教育で子どもたちの育成を



日本共産党 土屋 健一 議員

学校での環境教育の課題は、より良い環境づくりの創造的な活動に主体的に参画し、環境への責任ある行動をとれる大人になるよう子どもたちを育成することにあると認識する。環境教育で育成することを目指す人間像について伺う。

教育長 人間と環境との関わり等についての認識と理解を深め、持続可能な社会づくりにより主体的に参画できる児童・生徒と捉えている。

議員 三鷹らしい環境教育を実践するに当たり、重視している点について伺う。

教育長 豊かな自然や身近な人々の暮らしと環境との関わりを、様々な体験・資料の活用を通して理解を深める環境教育を進めている。

議員 学校教職員の環境教育に対する共通理解の醸成と指導力の向上は重要だと考える。教職員の質の向上の取り組みについて伺う。

教育長 環境教育をテーマ



ツイッターの三鷹市公式アカウント画面